



第91回展 振保ジャパン美術財団賞・島山 昌子「Vision 140401」F130 油彩

18  
SAT

入選者会場批評会

4月18日(土) 13:30~ 参加無料 —— 絵画・版画の各部ごとに行います。当日各階会場にて受け付けてください。

授賞式・懇親会

4月18日(土) 18:00~ 青山ダイヤモンドホール



毛利 伊知郎 氏

1955年 三重県出身。  
1982年から三重県立美術館学芸員、学芸課長、副館長などを経て2013年から館長。  
専門は日本近世近代美術史。  
三重県立美術館での主な展覧会企画に、「中谷泰展」(2013年)、「平柳田中展」(2012年)、「イケムラレイコ」(2011年)など多数。

講演会:毛利 伊知郎 氏(三重県立美術館館長)

「中谷泰の芸術」

4月19日(日) 14:00~15:30

国立新美術館3F講堂

入場無料

19  
SUN

25  
SAT

春陽展アートツアー

4月25日(土) 13:00~14:30 —— 一般の方を対象にした、絵画・版画鑑賞ツアー。  
春陽会会員の解説を受けながらアートの新たな楽しみ方を発見していただきます。

2F会場入口集合

参加無料、オリジナルグッズ プレゼント

ギャラリー・コンサート (チャリティー・イベント)

4月26日(日) 14:00~15:00 2F展示会場内(第2室)

亀井 博子 氏 (マリンバ・打楽器奏者)

洗足学園高等学校音楽科を経て東京芸術大学・同大学院修士課程修了。  
院の在学中、学内外問わず優秀な成績を修めたとして日本学生支援機構の奨学金返還  
全額免除の認定を受け、表彰される。東京で2回、バンコクのYAMAHAホールで1回マリ  
ンバソロリサイタルを行い好評を博す。その他、全国各地で演奏を行っている。卒業後  
JAZZの勉強を始め、マリンバを身近に感じていただけるよう作曲や編曲を数多く手がけ  
る。メディアにはNHK教育テレビ「ムジカ・ピッコリーノ」の「なつかしい場所」の回に出演。プ  
ロのオーケストラにエキストラとして参加し、打楽器奏者としても活動をしている。これま  
でにマリンバ・打楽器を石井喜久子、神谷百子、藤本隆文、安江佐和子、JAZZを新澤健  
一郎の各氏に師事。現在、洗足学園小学校オーケストラ打楽器アシスタント講師。  
受賞歴:第13回千葉県吹奏楽個人コンクール第1位及びグランプリ受賞。第10回KOBE  
国際コンクール中高校生部門最優秀賞及び兵庫県教育委員会賞受賞。第27回日本打  
楽器協会主催打楽器新人演奏会において岩城宏之賞(グランプリ)受賞。第3回南カリフ  
フォルニア国際マリンバコンクールファイナリスト。他受賞歴多数。  
ブログ: ameblo.jp/kamei-hiroko/



26  
SUN

Exhibits

企画展示

春陽会資料室 2F・AB休憩室

《絵画》フレスコの技術  
《版画》銅版画の道具と技術

春陽会資料室では、春陽会会員がそれぞれの制作のために研究した、  
絵画と版画に関する技術をシリーズで紹介しています。  
第92回展では、古典技法のひとつである漆喰壁画のフレスコと、凹版  
画の代表である銅版画を取り上げます。

チャリティー展示 2F・AB展示室 販売コーナー

会員有志による作品のチャリティー販売

収益は社会福祉法人NHK厚生文化事業団を通じて、東日本大震災を  
はじめ、自然災害、難民問題等に対する社会貢献として寄付します。

春陽会研究会の紹介 2F・CD休憩室

各地方研究会の活動

春陽会では全国に研究会を設置し、絵画と版画の啓蒙及び研究活動を行  
っています。このコーナーではそれぞれの地方研究会をご紹介します。

Events

企画催事

講演会 毛利 伊知郎 氏(三重県立美術館館長)

「中谷泰の芸術」  
4月19日(日)14:00~15:30 国立新美術館3F講堂

春陽展アートツアー 春陽会会員による解説

4月25日(土)13:00~14:30 (2F会場入口集合)

ギャラリー・コンサート 亀井博子 氏(マリンバ)

4月26日(日)14:00~15:00 2F展示会場内(第2室)

※いずれも参加は無料・詳細は裏面に



春陽会



春陽会は1922(大正11)年、小杉未醒、足立源一郎、倉田白羊、長谷川昇、森田恒友、山本鼎、  
梅原龍三郎、さらに客員として石井鶴三、今関啓司、岸田劉生、木村莊八、中川一政、萬鉄五郎  
等が参加して15名で創立されました。

翌1923(大正12)年に第1回展が開催され、今年第92回展を迎えました。その間、三岸好太郎、  
岡本一平、小山敬三、岡鹿之助、三雲祥之助、高田力蔵等、また版画部には長谷川潔、駒井哲郎など、  
日本美術史に名を刻む多くの画家たちが参加しています。

左写真:春陽会発会当日(1922年1月14日)